

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	観光協会支援事業			会計	款	項	目	大	事	小	
政 策	05	5 節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課						
施 策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎						

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、来訪者、会員	意図	流山市の観光の開発、宣伝、紹介を行う流山市観光協会に対して支援を行い、観光振興に寄与する。
事業内容	「人形供養会」「桜のライトアップ」などの観光事業や観光案内板の改修などの観光整備事業、観光マップの製作やホームページによる情報発信を行う観光宣伝事業など、観光協会が行う事業を支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	観光協会は、流山市の観光振興の担い手として観光事業、地域活性化事業、姉妹都市復興支援事業など、様々な事業展開を行っている。現在は自主財源の確保に向けて、商品開発やイベントでの物品販売などを行っている。また、利根運河ピリケンさんの祠の建立、協賛金・寄附により二代目利根運河ピリケンさんの制作など観光ポイントの創出を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	会員数	176	182	177	人	↑↑↑
②	ホームページアクセス数	12,532	37,603	45,770	件	↑↑↑	実績
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果		二代目利根運河ピリケンさんの制作などにより、マスメディアへの露出が増えた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度は、個人会員の退会が多かったため、会員数が減少した。ホームページへのアクセス数は、増加傾向にある。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		504,490	501,430	499,590			
事業費(b)(円)		350,000	350,000	350,000			
うち一般財源		350,000	350,000	350,000			
職員給与費(c)(円)		154,490	151,430	149,590			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.01	0.01	0.01			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の増強 ・観光情報発信強化 ・自主財源の確保 	③取組における課題(Check)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の確保に向けた新規事業及び法人化。
②H30に実施した取組(Do)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員向けサービスとして「観光協会だより」を発行。SNSによる情報発信を強化した。 	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活かしたブランディング戦略を行い、地域活性化につなげるとともに、自主財源の確保に努める。また、法人化に向けた検討